

みなみとしょかんだより

2021年 秋号

11月1日は「古典」の日です。そこで今回は、
「平安時代」をテーマに本を紹介し



『たかこ』

清水 真裕/文 青山 友美/絵
童心社

ぼくのクラスにやって来た転校生の「たかこ」は、顔をおうぎで、かくしたり、筆で字を書いたり。まるで平安時代のお姫さまみたい。



低学年向き

中学年向

高学年向き

『かえるのごほうび』 絵巻「鳥獣人物戯画」より



木島 始/さく
梶山 俊夫/レイアウト
福音館書店

今日は森のうんどう会。うさぎとかえるが、すもうの勝負。ところが、勝ったかえるが、ごちそうを食べすぎて…。平安時代に描かれた『鳥獣人物戯画』におはなしを付け加えた絵本です。

『日本語あそび学』

平安時代から現代までのいろいろな言葉あそび』



稲葉 茂勝/著・ウノ カマキリ/絵
倉島 節尚/監修 今人舎

上から読んでも下から読んでも同じ文になる「回文」。日本最古の回文は、平安時代に書かれたんだって。

『もえぎ草子』

久保田 香里/作
くもん出版



舞台は、平安時代中ごろの京都。『枕草紙』の作者「清少納言」が、つかえる屋敷で、下働きをすることになった少女が、強く、たくましく、自分の生きる道を見つける物語。

『枕草子』に出てくるエピソードも書かれているので、ぜひ、『枕草子』も読んでみてください。

『おひなさまの平安生活 えほん』

ほりかわ りまこ/作
あすなろ書房



すみれちゃんとあかねちゃんが、家でひな飾りを見ていると突然、平安時代の京都にタイムスリップしてしまいました。そこで出会った女の人が、おひな様の着物や食事、遊びなどを見せてくれ、おひな様のモデルとなった平安時代の貴族の人たちの暮らしを、いろいろ教えてください。

『陰陽師と魍魎魍魎』

藤田 晋一/著 金の星社

現在の京都が平安京と呼ばれていた平安時代に活躍した最強の陰陽師「安倍晴明」。彼が、鬼や怨霊たちを封じ込めた伝説の物語を紹介。

休館日 : 毎週火曜日 (祝日の場合は翌平日)

年末年始・図書特別整理期間

開館時間 : 平日 午前9時30分～午後7時まで

(児童だけの利用は午後5時まで)

土日祝日 午前9時30分～午後5時まで

住所/電話 : 南区東九条南山王町5-5 / 075-691-6888

最寄駅 : 地下鉄「九条」/市バス「大石橋」/JR・近鉄電車「京都」

